



信濃川

みんなのおすすめを
のぞいてみよう！

スポット マップ

信濃川の魅力が
たくさん！



信濃川 スポットマップ

とは？



2022年に大河津分水が通水100周年、関屋分水が通水50周年を迎えたことを記念し、2021年9月1日(水)～2021年12月19日(日)に信濃川とその周辺のおすすめスポットや景色を地域の皆さんから募集しました。

募集の結果、300箇所以上のおすすめスポットが寄せられ、その中から立入可能や信濃川等の水辺との関連を考慮し、104ヶ所のおすすめスポットをピックアップしました。思い出の場所、大好きなイベント、絶景スポットなど、さまざまな想いのこもったおすすめスポットです。

皆さんもぜひ訪ねてみてください！

INDEX

1. 信濃川スポットマップとは
2. 川のおはなし 信濃川
3. 川のおはなし 大河津分水
4. 川のおはなし 関屋分水
5. おすすめスポット位置
6. 新潟市中央区
7. 関屋分水周辺
8. 新潟市南区・田上町
9. 加茂市・五泉市
10. 三条市
11. 燕市・弥彦村
12. 大河津分水周辺①
13. 大河津分水周辺②
14. 見附市
15. 長岡市①
16. 長岡市②

ページの見方



①市町村名

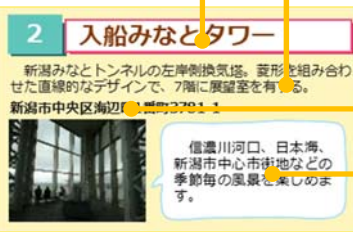
②地図

③おすすめスポットの名称

④おすすめスポットの説明

⑤おすすめスポットの住所

⑥応募者のコメント



川のおはなし 信濃川



長野県・山梨県・埼玉県の県境にある甲武信岳を源流とし、長野県では千曲川、新潟県に入ると信濃川と名前を変えます。長さ367kmは第1位、流域面積11,900km²は第3位の日本を代表する大河川。流域の雨水だけでなく北アルプスや越後山脈等からの雪解け水も豊富で、年間水量約160億トンも第1位を誇ります。

豊かな水は田畑を潤し人々の生活を支えるだけでなく、大量の年貢米や人々の移動の手段としての舟運の隆盛にも大きく貢献しました。多くの集落は川沿いに形成され、商工業の中心も川にのぞみ、各地に川港が作られ、市や商店が立ち並ぶなど信濃川の川港は大いに賑わいました。また、信濃川河口に位置した新潟湊は北前船の寄港地となり、全国各地から産物が集まってきたほか、文化や情報の集積地にもなりました。このように、信濃川は内陸部を結ぶ交通網として、新潟と全国を繋ぐ玄関口としての役割を担っていきました。



豊かな水は人々に恵みをもたらす一方で、かつての信濃川は「暴れ川」と呼ばれ、3年に1度は越後平野に大きな水害を起こし人々の生活を脅かしていました。江戸時代の「白髭水」や「宝暦の横田切れ」、1868年の「兵水の両難」、1896年の「横田切れ」や1917年の「曾川切れ」など壊滅的な被害をもたらした水害の記録も残っています。

人々は信濃川の氾濫から街や生活を守るために多くの治水工事を行ってきました。長岡城を守るために築かれた「左近の大土手」、信濃川と中ノ口川・笠巻川の「分流工事」、1886年から集中的に取り組みされた「信濃川堤防改築工事」、そして信濃川の氾濫を抜本的に防ぐために1922年に大河津分水が通水し、県都を守る要として1972年に関屋分水が通水しました。



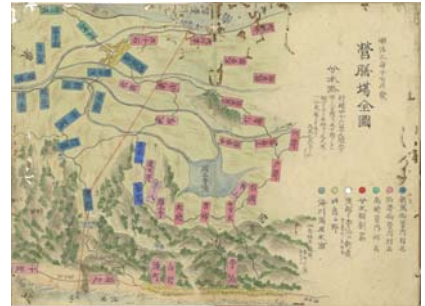
たゆまぬ信濃川の治水により水害が大きく減ったことで、支流の治水や湛水地の排水が進みました。かつては腰まで水に浸かり稲刈りをしていた田も、排水機場の建設と農業の機械化等が相まって収穫量が倍増したほか、堰や水門の建設により農業用水や生活用水が安定して取水できるようになりました。また、信濃川支流では水辺の生き物を観察できる親水公園、信濃川の河川敷にはスポーツ広場やウォーキングロードなどが整備され、私たちの生活を豊かにしてくれています。



川のおはなし 大河津分水



越後平野の水害を防ぐ抜本的な手段として提唱されてきた大河津分水。最も古い資料は1730年頃に寺泊の本間屋数右衛門が請願した記録が確認されています。莫大な工事費用と土木技術の未熟さから実現には至りませんでした。明治時代に入ると信濃川の治水の重要性が高まったことや田沢与一郎や高橋健三らの粘り強い請願活動によって大河津分水工事(第1期)が動き出しました。1870年に始まった大河津分水工事でしたが、掘るたびに崩れる“化け物丁場”の存在や手掘りに頼る工事技術などのため工事が遅れ、1875年に工事は中止となりました。



その後も、田沢実入や大竹貫一ら100人を超える人々が大河津分水の請願活動を展開。1896年7月22日に発生した大水害「横田切れ」の影響もあり、再び大河津分水工事が動き出し、1907年に大河津分水工事(第2期)を含む信濃川改良工事に着手しました。

標高100m程の山地を含む約2880万 m^3 の土量を掘削し、約10kmの人工河川を建設、水量調節のための洗堰と自在堰を建設する大工事には、延べ1000万人が従事し“東洋一の大工事”と称されました。また、日本で最初の大規模機械を用いた山地掘削、日本初の水と空気力で起伏する自在堰の建設など、最新の技術とノウハウを結集した工事でもありました。



地すべりやツツガムシ病などの困難を乗り越え1922年8月25日に大河津分水は通水しました。約300年にわたる人々の悲願が結実した瞬間でした。



大河津分水通水により①大河津分水より下流の信濃川堤防決壊回数はゼロ回となり、②排水性の向上等により平野部の米の収穫量が2倍～3倍に増加、③水害常襲地帯であった越後平野の中央には新幹線や高速道路などの交通網が整備され、④信濃川下流域では信濃川の川幅を半分に狭めることが可能となり計画的に埋め立てた場所に新潟県庁や万代シティなどが整備されています。



信濃川では過去3番目の洪水となった2011年、信濃川で過去最大の洪水を記録した2019年など、大河津分水は最大限の洪水を流し私たちを水害から守ってくれました。越後平野発展の礎であり、越後平野の守り神でもある大河津分水は、今日もまた人々の暮らしを支えています。

川のおはなし 関屋分水



昭和の始め、信濃川の上流から運ばれてくる土砂によって、新潟港は水深が浅くなり、船の行き来が難しくなると心配されていました。そこで、関屋分水が計画され、新潟市内で地盤沈下による浸水被害が目立つようになった1960年頃、その計画は本格化しました。



1963年、新潟市関屋団九郎より競馬場西側を通り関屋浜に至る延長1.8kmの新水路を開削して、信濃川の全流量を直接日本海側へ放流し、新潟市内の信濃川を埋め立てることにより、新潟市を洪水から守ることと、新潟港にたまる土砂を減らすことを主な目的として関屋分水事業は動き出しました。

1964年3月には新潟県の事業として着手されましたが、その6月に起こった新潟地震によって震災復興にも力を注ぐことが求められました。1965年に信濃川が一級水系に指定されたこともあり関屋分水建設は国の事業として行うことになりました。



関屋分水が建設される一帯は、新潟市の中心部から西方に約3km、郊外の住宅地として急速に発展していた地域でした。移転の必要がある家屋は、693戸（870世帯）。病院、工場、商店、幼稚園、市営住宅、民営アパート、それに個人住宅を含めた大規模な移転となり、ひとつの町がそっくり移動するようものでした。その多くは、近くの関屋競馬場跡地に移り住み、「信濃町」「文京町」という新しい町が生まれたのです。貴重な用地を提供された市民の協力により、1966年から始まった用地補償は、3年というたいへん短い期間で終わることができました。

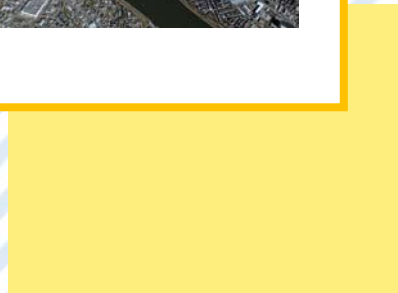
こうして、着手から8年後の1972年8月10日には、関屋分水通水式を挙行了しました。関屋分水工事に働いた人数は延べ60万人にのぼり、総事業費約190億円(建設当時)をかけて行われました。

こうして、着手から8年後の1972年8月10日には、関屋分水通水式を挙行了しました。関屋分水工事に働いた人数は延べ60万人にのぼり、総事業費約190億円(建設当時)をかけて行われました。

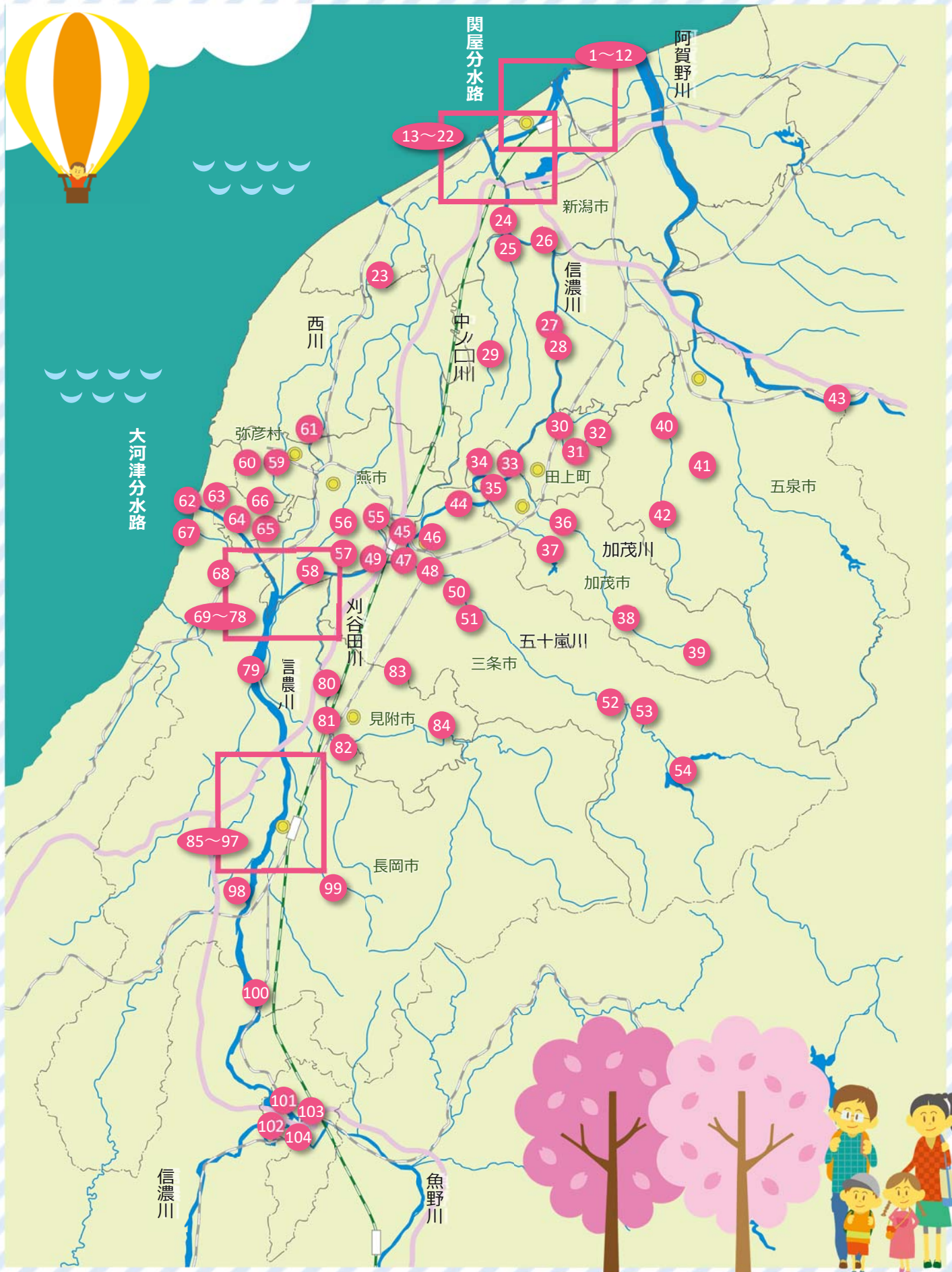
関屋分水には5つの役割があります。①新潟市を信濃川の洪水から守る、②信濃川の水量を調節する、③信濃川への塩分の浸入を防ぐ、④新潟西港へ土砂がたまるのを防ぐ、⑤新潟海岸の侵食を防ぐ。こうして関屋分水は新潟市をさまざまな面から守っているのです。



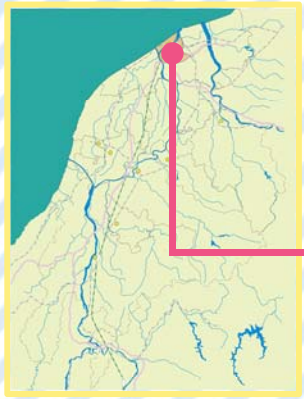
また、関屋分水開削によって発生した土砂は、新潟バイパスの盛土などに利用されました。こうした都市基盤が、新潟市の発展を進めていきました。



おすすめスポット位置



新潟市中央区



1 新潟西港

1869年に開港した歴史ある港。佐渡汽船や日本海フェリーなどの航路が就航する。



湊の入口から万代島方面の景色が一望でき、子供の頃から私の「パワースポット」です。

2 入船みなとタワー

新潟みなとトンネルの左岸側換気塔。菱形を組み合わせた直線的なデザインで、7階に展望室を有する。

新潟市中央区海辺町1番町3781-1



信濃川河口、日本海、新潟市中心市街地などの季節毎の風景を楽しめます。

3 新潟みなとトンネル

信濃川の川底を横断するトンネル。自歩道と車道が完全に分離されており、一番低い所では、路面の高さで水面下約24mになる。



引用：新潟県HP

みなとトンネルは延長1,423m、信濃川の川底を横断する珍しい構造物です。

4 Befco ばかうけ展望台

地上125mの高さを誇る展望室。新潟市街地のほか、日本海、佐渡島、五頭連峰などを眺められる。

新潟市中央区万代島5-1 オークエコービル31階



展望台からの信濃川は、日本海へ広がる景色と共に広がりや豊かさを感じます。

5 みなとぴあ

「郷土の水と人々のあゆみ」をテーマとした新潟市歴史博物館。みなとぴあの愛称で親しまれている。

新潟市中央区柳島町2-10



湊新潟の繁栄のシンボル。きれいなだけでなく、様々な様に活用されています。

6 柳都大橋・やすらぎ堤

やすらぎ堤は、信濃川本川下流信濃川水門から柳都大橋までの堤防を指す。洪水被害を防ぐ機能の他、散歩道やサイクルコースも整備。



特に夕日に照らされる柳都大橋が格別に美しく好きです。「水の都新潟」をアピールしたい！

7 三社神社

長岡領開拓の安全と成功を祈願して作られたことが始まりとされる神社。三神を祭っている。

新潟市中央区三和町1-1



引用：三社神社HP

境内にいる6匹の蛙を全て見つけると、幸せを迎える(六蛙)と言われています。

8 みなとさがん

萬代橋・みなとぴあ間に広がる信濃川左岸緑地。対岸には朱鷺メッセや佐渡汽船が臨む。



洗練された外国の雰囲気漂う、川でありながら海岸の様な素敵な一推しスポット。

9 萬代橋

1886年に初代萬代橋が建設され、以降新潟市のシンボルとなっている。現在の萬代橋は1929年に架け替えられた三代目。



風に当たりながら萬代橋の上をよく散歩します。川の流れを見るのはなかなかです。

10 メディアシップ

新潟のランドマークとして親しまれている多機能複合型ビル。展望室からは信濃川と新潟の街並みを一望できる。

新潟市中央区万代3丁目1番1号



3代目萬代橋の架かる信濃川、佐渡、飯豊連峰など変わりゆく市内の様子に飽きることはありません。

11 八千代橋

信濃川に架かる、1962年竣工の新潟市中心部の流通を支える橋。上流側には昭和橋、下流側には萬代橋が架かっている。



夕日が沈む時には、県庁や弥彦山を彩り、水面に夕日も映りなんととも言えない絶景です。

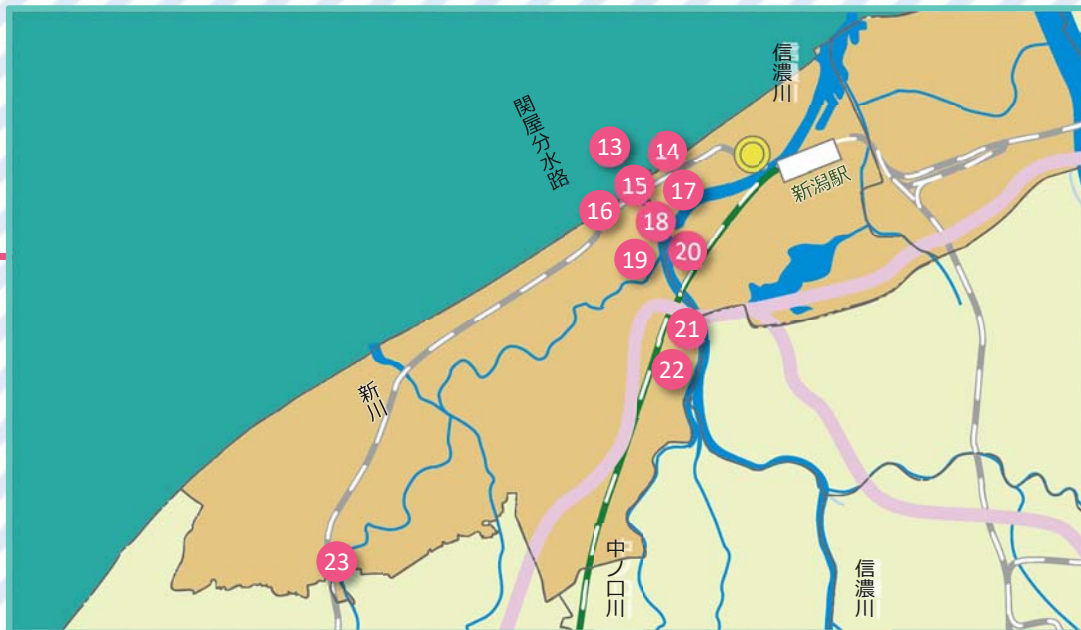
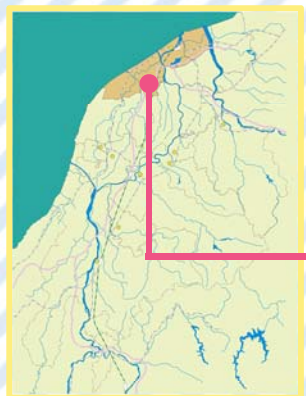
12 JR越後線信濃川橋梁

白山駅-新潟駅をつなぐ橋梁で、長さは290m。信濃川の両岸はウォーキングにも最適。



電車が橋の上を通過する時、川が広くて水がゆうゆうと流れる景色を毎回眺めています。

関屋分水周辺



13 関屋分水

新潟市を洪水から守ること、新潟港にたまる土砂を減らすことを主な目的として1972年に通水した。2022年に通水50周年を迎えた。



太陽にあたった関屋分水路は世界一になるほど綺麗だと思えます。

14 関分記念公園

関屋分水完成記念に整備された公園。タコの形の滑り台や、展望台などがある市民の憩いの場。

新潟市中央区関屋2番地4



引用：新潟市中央区HP

冬の関屋分水公園から見る日本海の荒波の迫力は最高です。これぞTHE日本海。

15 新潟大堰

関屋分水路河口に建設された堰。日本海に流れ出る水の量を抑え信濃川に必要な水位を確保するとともに、海水の遡上を防ぐ役割もある。



3つの門が「どん」とあって波をとめるのでかっこいいです。おススメです。

16 関屋分水資料館

関屋分水の建設経緯や役割などを模型や動画で学べる。入館無料。

新潟市西区関屋1827-39



資料館から見る夕方の太陽が、ちょうど佐渡と重なって綺麗です。

17 JR越後線関屋分水橋梁

関屋分水の建設に伴いつくられた鉄道橋。関屋駅と青山駅をつなぐ重要な交通路のひとつ。車窓から関屋分水を一望できる。



越後線で関屋分水を渡るたびに、幼い頃に見た工事の様子を思い出します。

18 浜浦橋

新潟島と新潟市西部を結ぶ橋。関屋分水路河口から2番目に架橋されている。



通勤時の癒しスポットです。カモメやウミネコの停留する姿を毎日楽しんでいます。

19 関屋分水ポプラ並木

関屋分水路沿いに植えられたポプラ並木。掘割橋と有明大橋の間の堤防に植栽されており、のんびりと散歩することが出来る。



桜並木とポプラ並木の立体的美しさは別格です！

20 美咲こもれびの道

美咲町の信濃川沿い堤防に整備された遊歩道。住宅街から関屋分水分派点まで伸びている。



道から眺める信濃川と関屋分水の分水嶺が、すばらしく綺麗です。

21 善久河川敷公園

子供向けの遊具やスポーツ広場がある公園。ふるさと村と合わせた周辺は季節の花もキレイ。

新潟市西区善久河川敷



広々としており、小さい子供を遊ばせるにはベストな場所です。

22 新潟ふるさと村

新潟の味覚を楽しめ、雪国体験施設や自由に散歩できる花畑、室内遊具などを有する道の駅。

新潟市西区山田2307



引用：新潟ふるさと村HP

魅力ある道の駅でもあり、ウォーターシャトルの発着もあります。

23 JR越後線赤塚駅付近の夕景

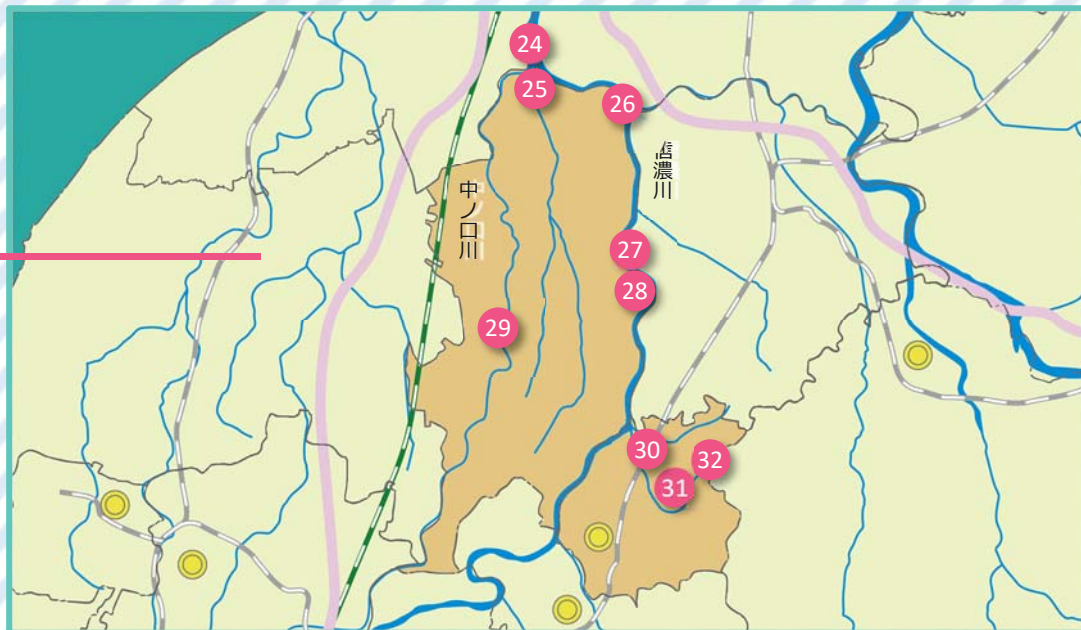
越後平野の西縁に位置し、田園風景や街並みを見渡せる。車窓からの景色は新潟を感じることができる。



遠くの佐渡島を背景に、夕焼けと水田の間を駆け抜けていく電車がとても幻想的です。



新潟市 南区・田上町



24 鷺ノ木大通川と信濃川の合流部

年中へら鮒釣りが楽しめる鷺ノ木大通川。信濃川大橋からは、鷺ノ木大通り川と信濃川、中ノ口川との合流部を見ることが出来る。



鬱蒼とした木々の奥に釣り人が立つ姿は、神秘的な水辺の遊び場に見えたものでした。

25 鷺ノ木桜遊歩道公園

鷺ノ木大通川の両岸にある公園。ソメイヨシノが約80本植栽されており、季節を満喫できる。

新潟市南区鷺ノ木新田



川の行く手にそびえる水門が、水郷の守り手として新潟農村部らしい景観を見せます。

26 県道1号酒屋付近

新潟県道1号新潟小須戸三条線は新潟市中央区から三条市に至る道路。新潟市南区・秋葉区付近では、信濃川堤防上に道路が通っている。



夕暮れ時に運転しながら見る信濃川的美しさは格別です。心が洗われます。

27 白井橋

新潟市南区と秋葉区をつなぐ国道460号線橋梁。ライブカメラが設置されている他、水位流量観測所が設置されている。



晴れた日に見える景色は、信濃川が造った「水と土の芸術」を強く実感できます。

28 信濃川堤防

信濃川と中ノ口川の堤防に囲まれた輪中地帯である新潟市南区。信濃川堤防は車道や遊歩道になっており高い位置から周囲を見渡せる。



白根の堤防の上から左右を見ると、町なみ、田畑と川のコントラストが最高です。

29 白根配水塔

昭和8（1933）年3月に竣工した上水道施設。現在は役目を終え、国登録有形文化財となった。

新潟市南区上下諏訪木字川原10-1



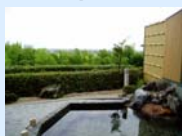
静かで庭園もあり、落ち着く場所です。

引用：新潟市南区HP

30 ごまどう湯っ多里館

田上町の多目的交流施設。日帰り温泉や食事処などがあり、湯船に浸かりながら越後平野が見渡せる。

田上町大字田上丙3673-1



露天風呂からの眺望が良く、天気がいいと県庁やビッグスワンが見れます。

31 手取ヶ淵の滝

護摩堂山登山道の途中にある滝。二条の水流が幅広い滝を作っている。

田上町大字田上



水が2方向に分かれて滝つぼに流れ落ちます。人が少ない穴場スポットです。

32 護摩堂山

山頂には約3万株の花が咲き誇り、越後平野の広大な田園風景を一望できる。



四季の風景が楽しみ、人も比較的少なく気に入っています。あじさいの季節がおススメ。

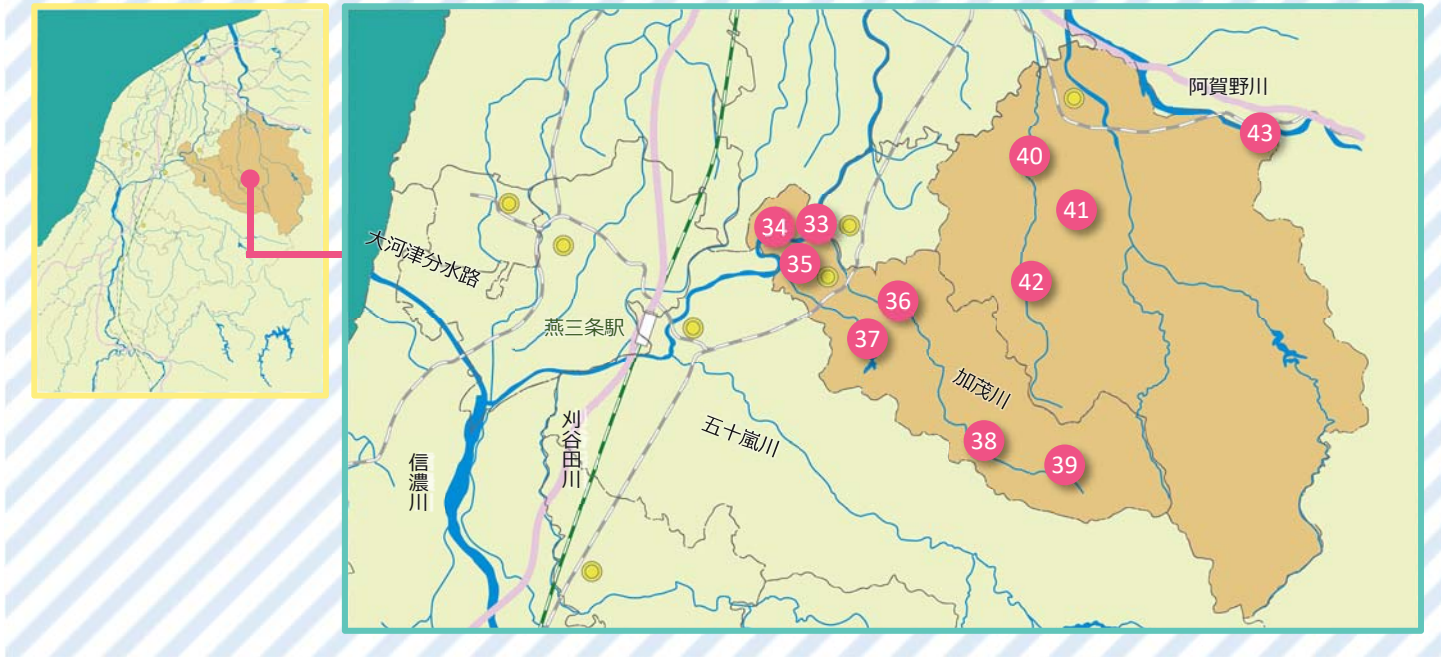
川のおはなし

中ノ口川

中ノ口川は信濃川の分流であり、直江兼続が河道整備を行ったとも言われています。江戸時代以来信濃川と共に舟運が発達し、明治期になると川蒸気船が就航、主要な交通手段として活躍しました。

1961年の大水害を機に、信濃川と中ノ口川へ流れる水量を調節する蒲原大堰と中ノ口川水門が建設されました。

加茂市・五泉市



33 五反田橋

加茂市と田上町を結ぶ県道9号の橋。1915年に木橋として架橋されたのが始まりで、現橋梁は1984年竣工。橋の長さは532.5m。



1万回以上、通学・通勤で橋を渡りながら信濃川を眺めた思い出の場所です。

34 加茂大橋

加茂新田と前須田を結ぶ県道9号の橋。五反田橋の渋滞緩和及び観光・物流・商工業振興の発展のため2010年に開通。橋の長さは505.8m。



加茂大橋からは、弥彦山・信濃川が美しく映し出される夕景色を楽しめます。

35 加茂の果樹畑

果樹作りが盛んな加茂市の信濃川河川敷。加茂大橋から見る果樹畑では夏には、桃や和梨、ルレクチエなどが栽培されている。



春になると一面に桃や梨の花が咲いてとてもきれいです。

36 加茂川

加茂市の中心を流れる川。市街地に架かる橋には、それぞれにシンボルとなる親柱がついている。様々なイベントにも使われる市民の憩いの場。



加茂川を泳ぐ鯉のぼり、子どもが大好きです。毎年見に行くと思いでいます。

37 下条川ダム

下条川治水ダムとして建設された。周辺にはピオトープや自然学習館、キャンプ場を整備している。
加茂市大字下条字祖父坂879



へら鮒釣りのメッカとして、一年中県内外から大勢の人々が訪れます。

38 美人の湯

日本三百名山の一つ「粟ヶ岳」の麓にある温泉。大自然に囲まれた加茂川のせせらぎが聞こえる場所。
加茂市大字宮寄上13-1



露天風呂から見る、雄大かつ美しい粟ヶ岳が最高です。

39 粟ヶ岳県民休養地

登山道やキャンプ場、ハーブ園や自然観察林などが整備され、加茂川の水辺で豊かな自然を楽しめる。
加茂市大字宮寄上2684



水源池第1ダムの水面に映る粟ヶ岳は四季折々に美しい表情を見せてくれます。

40 能代川りんりんロード

五泉市村松から新潟市秋葉区に続くサイクリングロード。沿川に桜並木もあり、春には約300本の桜の花が咲き乱れる。



季節を感じる田園風景や山々があり、磐越西線の電車が走る風景がきれいです。

41 村松城址公園

大名であった堀家の居城跡2.2ヘクタールが公園となった場所。郷土資料館や児童遊園も整備。
五泉市村松乙2-1



城下町のかおりを残す城跡公園は、春には桜などの花が咲く憩いの場です。

42 南田中パーク

能代川に遡上するサケを観察できるスポット。民家近くで多くのサケが産卵する。夏にはホテルも。
新潟県加茂市宮寄上13-1



サケの遡上などが観察できる自然豊かな環境を感じられます。

43 咲花温泉

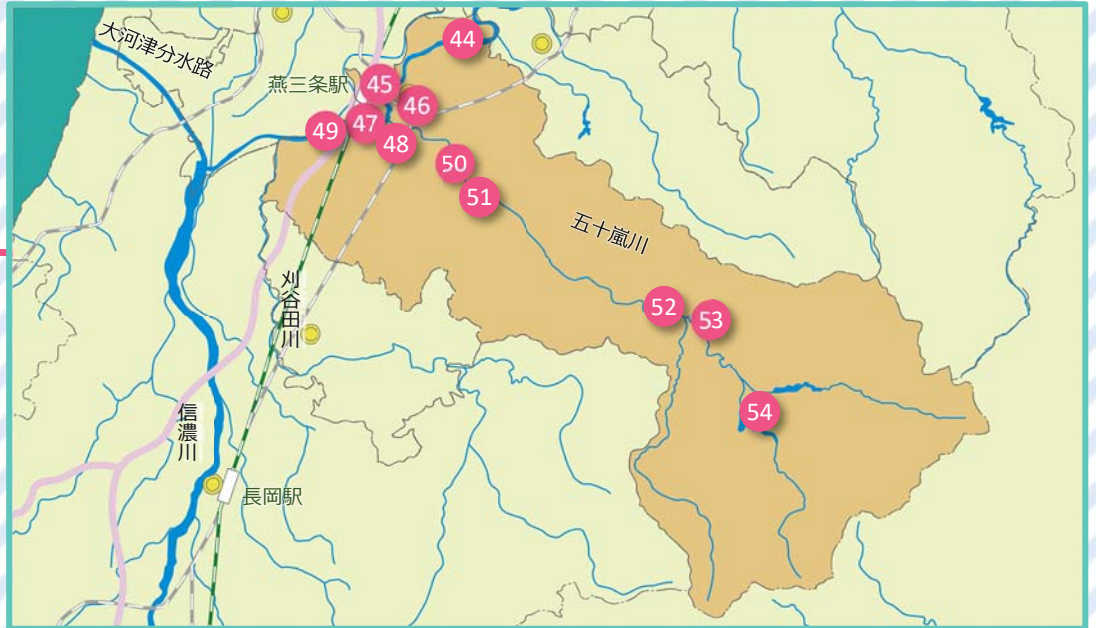
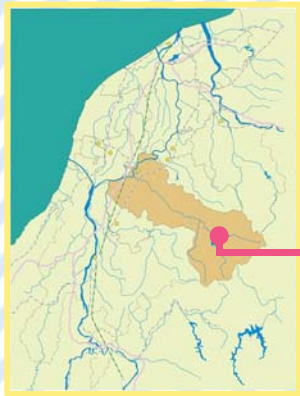
「先花地」と呼ばれ、湯花が噴出していたことが名前の由来。県下有数の豊富な湯量を誇る温泉地。
五泉市佐取



宿から見る阿賀野川の流れは四季折々とその風情を見ることが出来ます。



三条市



44 大島頭首工

信濃川から農業用水を取水し、新潟市南区、加茂市、田上町にわたる約4,370haの水田を潤す施設。



大河における壮大な風景は圧巻です。ぜひ見に行ってください！

45 水防学習館

7.13水害・7.29水害の被害状況資料や、水害降雨体験などの設備を有する施設。

三条市上須頃167番地1



引用：三条市HP

水害のことを詳しく学べる良い場所です。体験コーナーもあります。

46 五十嵐川と信濃川の合流地点

流路延長38.7kmの五十嵐川。南東の魚沼市との境界・烏帽子岳を水源とし、三条市中心部を東西に横断して信濃川に注いでいる。



堤防から見下ろす合流点は、信濃川の大きさを感じられます。

47 ミズベリング三条

水辺に興味を持つ市民・企業・行政が三位一体となって盛り上げる水辺空間。

三条市上須頃167番地1



キャンプ場や遊具もあり、施設で防災の勉強も出来ます。子どももいつも楽しんでいます。

48 三条市の果樹園

信濃川や中ノ口川周辺の肥沃な大地では、ルレクチェの他、桃、梨、ぶどうなど多くの果物が生産されている。



町内行事で毎年フルーツ狩りに行きます。美味しいの秘密は信濃川のおかげだそうです。

49 蒲原大堰

信濃川と中ノ口川が分派する地点に設置されている堰。昭和59年完成。信濃川の水量を調節することで下流の地域を洪水から守っている。



中ノ口川と信濃川が同時に眺められるとても良い場所です！

50 渡瀬橋

五十嵐川に架かる橋。渡瀬橋から上流の八木橋までは7月上旬にはアユ釣りが解禁となる。また、サクラマスやサケが遡上する。



橋からは山が見え、空気もきれいです。時期には鮭も見られます。

51 五十嵐川遊水地

平成23年7月の新潟・福島豪雨による甚大な被害を機に工事が進められ、平成30年に完成した遊水地。

三条市月岡地内



豪雨を機に作られましたが、今は様々な野鳥が集まり、多くの愛鳥家が訪れる場所です。

52 白鳥の郷公苑

五十嵐川に飛来する白鳥の観察スポット。おすすめの観察時間帯は早朝と夕方。

三条市森町1774番地1



冬になると、五十嵐川を悠々と泳ぐ白鳥の姿が観察舎から見られます。

53 八木鼻

高さ200メートル以上の石英粗面岩の壁が五十嵐川の脇にそそり立ち、荒々しい岩肌が魅力的。

三条市北五百川38



巨大な岩の壁が壮大で、とてもカッコイイです！

54 ひめさゆり湖

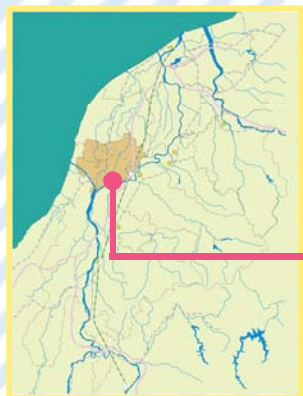
五十嵐川に建設された多目的ダム「大谷ダム」のダム湖。周辺には公園や資料館が整備されている。



湖面ではカヌーやカヤック、ボートや魚釣りなどさまざまなレジャーに利用されています。



燕市・弥彦村



55 朝日大橋

中ノ口川に架かる国道289号の道路橋梁。2019年に開通し、燕市の交通の要となっている。



橋の上から、新幹線・電車・高速道路・弥彦山など360°様々なものを見ることができます！

56 燕市大曲

中ノ口川が大きく湾曲する場所。燕市産業史料館や燕市交通公園などがある。



大曲からみる中ノ口川はおだやかに流れ、いつ見てもやさしい気持ちにさせてくれます。

57 大曲河川公園

中ノ口川左岸に位置する市民憩いの場。野鳥が集まり、貴重な植物が群生している。

燕市大曲4258



県央大橋の下でBBQをすると、橋の下なので雨に濡れずに楽しめます。

58 横田切れ公園

1896年に発生した大水害「横田切れ」の破堤箇所につくられた公園。

燕市横田



夕方になると、夕日と川がとてもきれいです。

59 彌彦神社

霊峰弥彦山の麓にある創建から2400年以上の歴史を有する神社。大河津分水にまつわる資料も奉納されている。

弥彦村弥彦2887-2



紅葉スポットとして有名ですが、年間を通して美しい自然と森林浴を楽しむことができます。

60 弥彦山頂

越後平野のほぼ中央部にある山。標高634mの山頂には彌彦神社の祭神と妃神の御神廟がある。

弥彦村弥彦2898



日常から少しはなれて気持ちの良い時間をすごせる場所です。

61 西蒲区～燕市の田んぼ

越後平野ならではの田園風景が広がっている。夏井や門田には昔ながらのハザ木も現存している。



5月上旬の早朝、早苗の田んぼの水鏡に残雪の山々が逆さにうつる姿は絶景です。



川のおはなし

才歩川

才歩川は、田上町を流下し信濃川へ合流する長さ6.6kmの一級河川です。田園地帯が広がる下流域は地盤が低く、上流域は急峻なため土砂が流出しやすく、川底が周辺の地面の高さよりも高い天井川となっています。信濃川増水の影響も受けやすいため、1995～2000年には6回の内水氾濫被害が発生しました。これを受けて信濃川の洪水の才歩川への逆流を防止するために才歩川水門が建設されました。ゲート本体が堤防上に突出しない円弧型ローラーゲートを採用しています。

大河津分水周辺①



62 野積橋

大河津分水路に架かる橋梁の中で最も河口にある橋。令和の大改修事業における架け替え工事により、歩道が整備される。



夕日が出ている頃の景色がとてきれいです。

63 にとこみえ〜る館

「大河津分水路改修事業」について詳しく紹介した施設。屋上展望からは工事現場を望める。

長岡市寺泊野積



大河津分水路改修事業について、工事現場の間近で学べる施設です。

64 五合庵

国上寺の僧侶たちの4つの塔頭のひとつ。良寛が40才の頃からおよそ20年過ごした場所。

燕市国上



頻繁に起こる洪水を嘆いたり辺りの竹を愛しんだりする良寛師の息づかいに触られます。

65 朝日山展望台

国上山の中腹にある展望台。付近には五合庵へ至る千眼堂吊り橋があり、いいがた景勝百選の一つ。

燕市国上



越後三山・信濃川・洪水から越後平野を守る大河津分水と日本海が臨めます。

66 国上山

標高313mの低山。中腹にあるビジターセンターから山頂までは片道30分ほどで登ることが出来る。



頂上からの景色がとてきれいです。

67 円上寺隧道

円上寺瀧の水を抜いて海に流すために掘られた水路トンネル。完成から100年経った現在も現役。土木学会選奨土木遺産に認定されている。



完成から100年以上が経った今も使われており、寺泊の治水の歴史を感じさせます。

68 弁財天験碑

円上寺瀧で多発した子供の水難事故をカッパのたたきとして弁天様に鎮めて頂いた伝説を刻んだ石碑。

長岡市寺泊本山618



円上寺瀧の当時の様子を知れる、治水の歴史を感じさせてくれるスポットです。



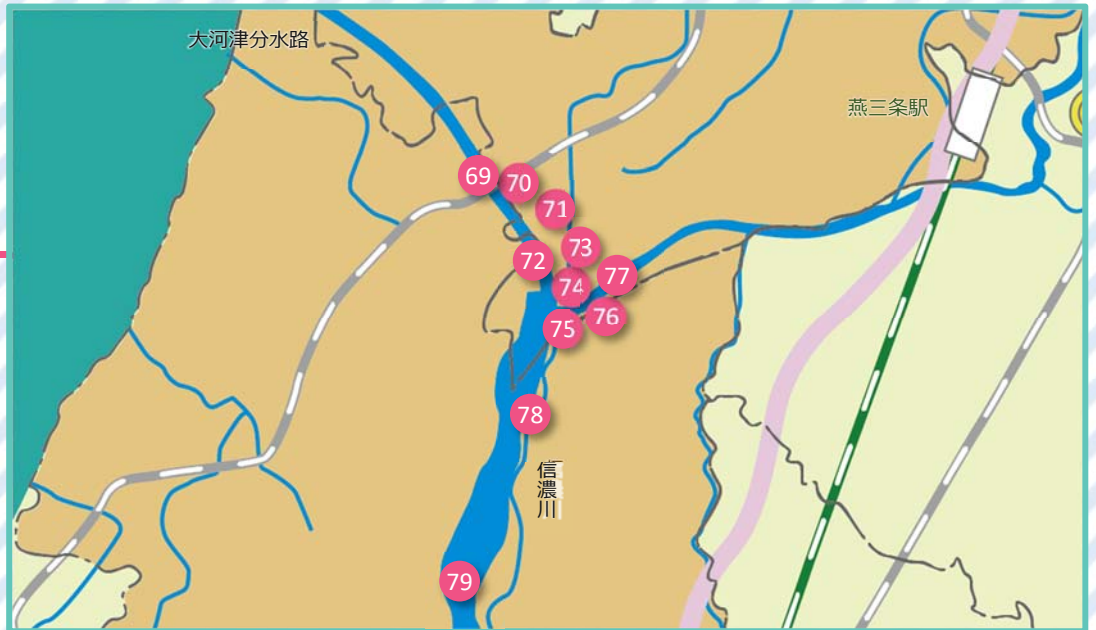
川のおはなし

能代川

小阿賀野川へ合流する延長32.4kmの信濃川水系の河川。下流域は標高差が4~5m以下で勾配が緩やかな上に屈曲箇所が多く、幾度となく水害が発生しました。

こうした水害を防ぐために河道の付替や堤防の整備など大規模な改修工事が行われ、市街地を流れていた旧川は新津川に、その東側に現在の能代川が流れています。春の桜や水仙は見応えがあり、イベント会場や遊歩道など憩いの場としての整備が進められています。

大河津分水周辺②



69 越後線大河津分水橋梁

分水駅と寺泊駅をつなぐ、大河津分水路に架かる橋梁。令和元年東日本台風では橋梁の高さまで水位が増水した。



大河津分水に架かる越後線に夕日が重なるとてもきれいな景色を楽しめます。

70 大河津分水桜並木

大河津分水工事の偉業を称え植えられた桜並木。「つばめ桜まつり分水おいらん道中」の開催地。



たくさんの桜が咲く様子が、ピンクのじゅうたんのようにとてもきれいです。

71 大河津分水さくら公園

大河津分水桜並木沿いにある公園。ビジターセンターや大型遊具、多目的広場などを有する。

燕市五千石4026-3



燕市はさくらが有名だし、大河津分水も知ってほしいので、この公園をおすすめします。

72 大河津可動堰

大河津分水路に流す水量を調整する。ゲートが円弧上に回転するラジアルゲートとしては国内最大級の大きさ。現在の可動堰は2011年に通水した3代目。



いつまでも末永く越後平野の人命と財産を守るために、欠かせない存在です。

73 信濃川大河津資料館

越後平野の発展の礎である大河津分水の役割と歴史を学べる施設。資料展示の他、展望室も楽しめる。

燕市五千石



4階から見る大河津分水路や信濃川はおすすめです！

74 旧洗堰

約100年前に大河津分水が通水した際に、信濃川へ流す水量を調節するためにつくられた堰。現在は国の登録有形文化財となっている。



綺麗な桜と雄大な川と、少し廃墟感を漂わす古い人工構造物が良い雰囲気です。

75 大河津洗堰

信濃川本川に流す水量を調整し、普段は日々の生活や田畑で使う水を一定量流し続けている。現在の洗堰は2000年に通水した2代目。



西洋の古城を想わせる、年季の入った建物、カッコいいです。

76 洗堰魚道観察室

大河津洗堰に整備されている魚道を通る魚たちの様子を観察できる施設。アユ、フナ、ヨシノボリ類の他、季節によってサケの遡上も観察できる。



非日常を感じさせるマニアックで稀有な空間だと思いました。

77 本川橋

長岡市中之島地域と燕市分水地域を結ぶ、信濃川に架かる橋。高さ33mある大きな赤いアーチは、ランドマークとなっている。



青空のときはとくにきれいで、青や緑の中に赤があつてとても映えます！

78 万本桜植樹帯

与板橋から下流の大河津分水路・信濃川堤防に植栽されている桜並木。写真は中之島地域の桜。



春になると桜が満開になり、川も近く、ふりむくと弥彦山が見えるのでおすすめです。

79 与板橋

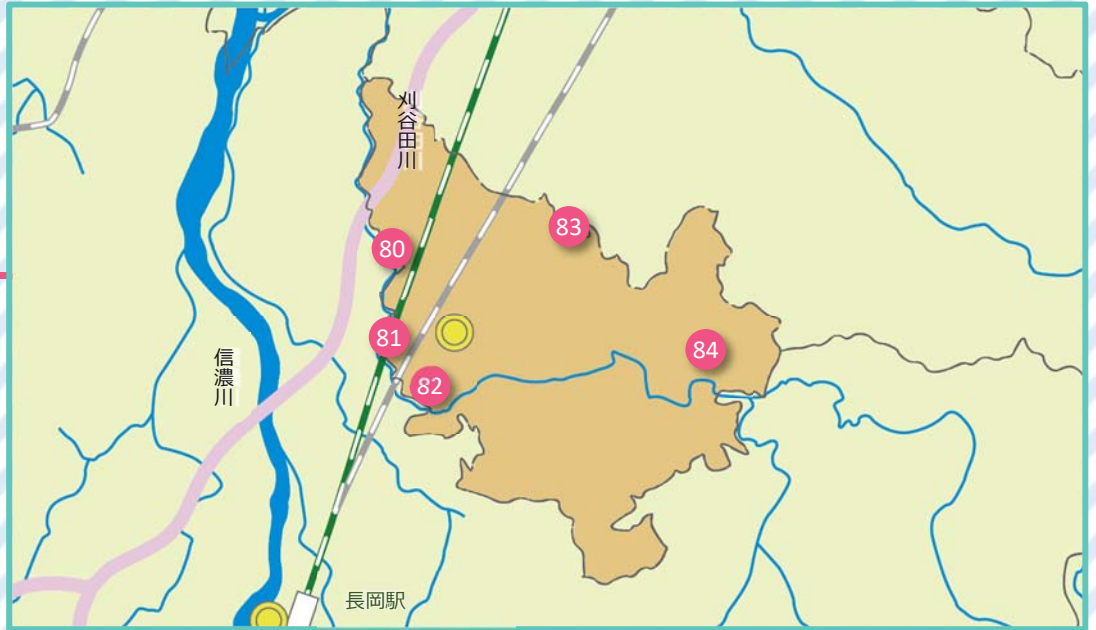
初代は1910年に、現在の橋は1965年竣工。8連のトラスは補修の節目に色を変え、現在は青色となっている。



橋から見る信濃川と弥彦山と青空や、冬の朝に中州で白鳥が休む姿が良いです。



見附市



80 凧合戦の風景

6月第1土曜日から3日間、中之島大橋下流刈谷田川堤防上に位置する、長岡市中之島地区・見附市今町地区間で行われる凧合戦。新潟県無形民俗文化財。



引用：見附市HP

凧合戦では凧糸が切れるまで力の限り引っ張り合い、激しい空中戦が展開されます。

81 パティオにいがた

刈谷田川防災公園内の道の駅。農産物直売所や飲食店の他、水害の防災アーカイブを有する。

見附市今町1丁目3358



広い芝生でキャンプをしながら川や自然のめくみを感じられ、幸せな気分になれます。

82 刈谷田川堤防上サイクリングロード

2016年に整備が始まったサイクリングロード。2022年現在の整備区間は4530m。遠方には守門岳も望め、五感で四季を感じられる。



刈谷田川中流域の見附市域から信濃川との合流点まで舗装されたサイクリングコースです。

83 大平森林公園

大平堤を囲む自然あふれる公園。大型遊具、キャンプ場、遊歩道、サップバイク、バーベキュー施設等がある。
見附市内町1432



引用：見附市HP

山道には山野草が咲き、新緑や紅葉が美しい。子どもから大人まで楽しめる。

84 本明川

刈谷田川は年間3~5千匹のサケが遡上し、本明川の杉澤町地内では自然産卵を見ることができる。

見附市杉澤町



11月~12月上旬にかけてサケの自然産卵を間近に見ることができる、見附市の宝です。



川のおはなし

加茂川

粟ヶ岳を源流にもつ延長17.7kmの一級河川です。上流には水源池ダムがあり湖周辺を散策できるほか、市街地の河川敷には公園や花壇などが整備されています。越後加茂川夏祭りでは大ナイアガラ花火が打ちあがるほか、平成元年から始まったイベントである加茂川に泳ぐ鯉のぼりは毎年多くの方が訪れ、川に近づけるスポットやイベントがたくさんあります。



加茂川水源池ダム

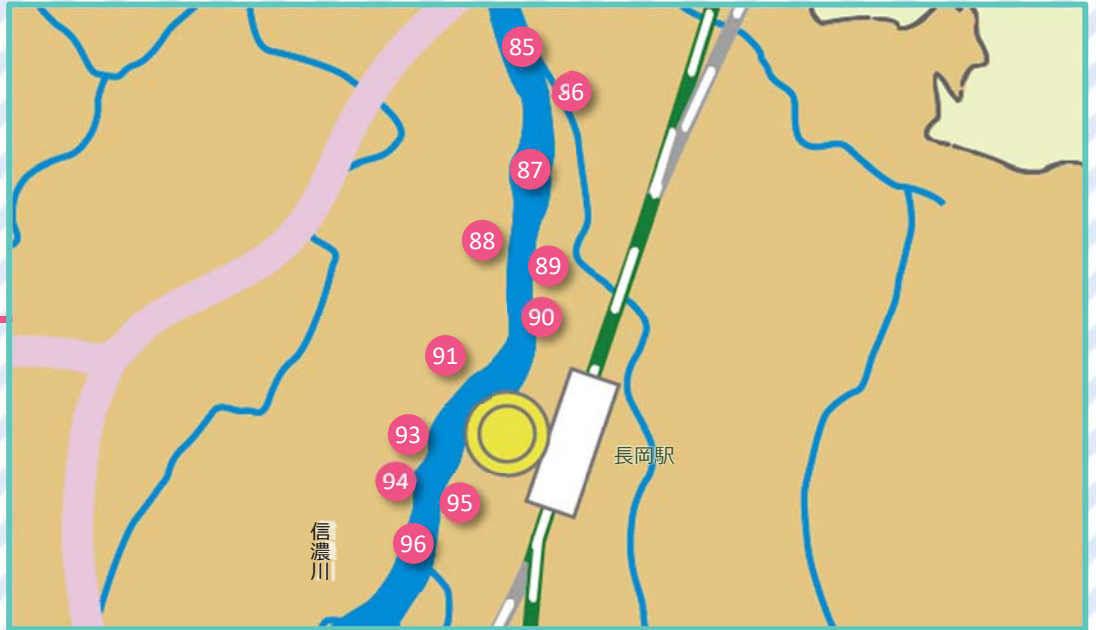
川のおはなし

五十嵐川

上流には大谷ダム・笠堀ダム、中流から下流にかけては白鳥の郷公園や水害復興記念公園など、五十嵐川に親しめるスポットがたくさんあります。また、ほぼ全域にわたってアユ、ヤマメ、イワナ、ウグイ、カジカなどが生息し、自然も豊かな川です。

2004年の7.13水害、2011年の7.29水害など近年の水害により、市街地が浸水することもありましたが、ダムの嵩上げ、遊水地の整備など五十嵐川とともに生きる取り組みがなされています。

長岡市①



85 蔵王橋

信濃川に架かる国道352号の桁橋。旧蔵王橋が架け替え工事時に継続して通行できるようにするため、下流に湾曲して設計されている。



蔵王橋の流鏝馬の形の照明と、橋のたもとの信濃川を表現したモニュメントがきれいです。

86 柿川排水機場

信濃川支流の柿川に洪水が逆流しないように設置された水門や排水ポンプ。流域の浸水被害を防ぐ。

長岡市松葉2丁目11



信濃川からの逆流を防止し、市街地を浸水の脅威から守る重要な施設です！

87 長岡大橋

信濃川に架かる国道8号長岡バイパスの桁橋。自歩道には計3箇所のバルコニーが設けられており、信濃川を眺望することができる。



東詰から西詰に向かうと花美(火)モチーフの照明塔が素敵です！

88 千秋が原ふるさとの森

大型遊具の整備された緑の広場、季節の草花が咲きそろう花の広場、野外音楽堂などを有する。

長岡市千秋3-315-1



色とりどりの花が咲き、現代アートと雄大な信濃川が美しい癒しのスポットです。

89 水道タンク (旧中島浄水場配水塔)

長岡市の上下水道の敷設に伴って建造され、昭和2年に完成した配水塔。1998年有形文化財に登録。

長岡市水道町3丁目247番地2



長岡市のシンボル。市民を明るく照らしてくれます。

90 信濃川右岸運動公園

ソフトボール場を三面有する広大な運動公園。長岡花火開催時は観覧会場にもなる。



スポーツ広場から見る正三尺玉3連発フェニックス花火は圧巻です！

91 千秋が原南公園 (てくてく)

子育ての駅と公園が合体した施設。さまざまな児童向け玩具、大型の室内・屋外遊具を有する。

長岡市千秋1丁目99番地6



子どもたちと自然の中で遊べる、気持ちの良い場所です。

92 信濃川堤防ウォーキングコース

長生橋から長岡大橋の間を周遊できる。歌碑やモニュメント、信濃川の景色や野鳥の群れなど見どころがたくさんある。



信濃川の雄大な流れと四季を感じながらランニングやウォーキングを楽しめます。

93 信濃川桜づつみ

長生橋～長岡大橋間は2008年度に供用開始され、斜面が緩やかに。さらに上流・下流と歩くことができる堤防が続く。



年に数回しか見れない長生橋と朝日・朝霧の組み合わせは格別です。朝の散歩どうぞ。

94 長岡の信濃川河川敷

古くから舟運等で親しまれていた長岡市における信濃川。信濃川河川敷は「水と緑のオープンスペース」として、地域の方々に利用されている。



信濃川の河川敷から見る長岡花火はどの花火大会よりも迫力満点で最高です。

95 与謝野晶子・鉄幹の歌碑

1934年10月に与謝野晶子と与謝野鉄幹(寛)が長生橋付近から信濃川を望んで詠まれた歌の歌碑。

長岡市山田2丁目5-49



二人が雄大な景色を見て詠んだ歌を見ると、この風景への愛着を一層深めてくれます。

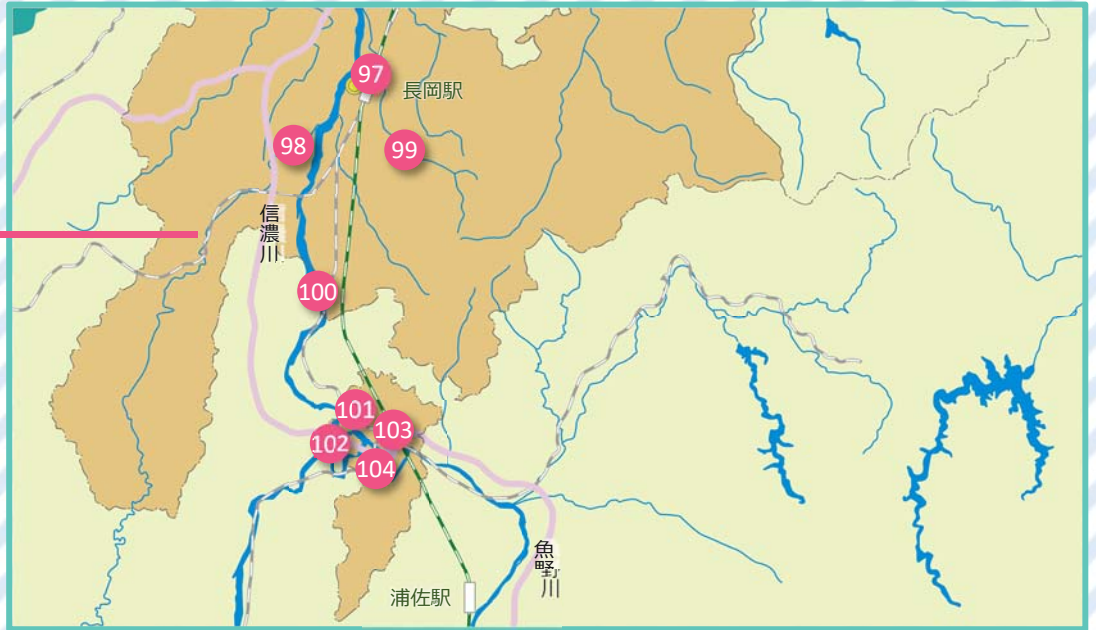
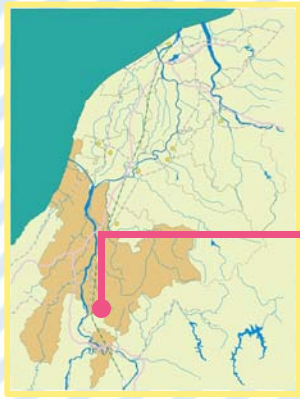
96 長生橋

信濃川に架かるトラス橋。1876年に初代長生橋が架けられ、現在は1937年に完成した三代目。土木学会選奨土木遺産。



ライトアップと水面への反射がきれいです。

長岡市②



97 福島江

長岡市や見附市など約8,000haの耕地を潤す水路。工事者の出身地から福島江と名づけられた。総延長は27kmあり、桜の名所でもある。



桜並木がとてもキレイ!!!ぜひ行ってみてください!

98 越路河川公園

越路橋のたもとに位置する10haの公園。スポーツ施設や親水池、広場、遊具などがある。

長岡市浦6280



旧越路橋の赤い鉄橋を渡ったり、満開の桜の下を散策するとゆったりした気分になれます。

99 長岡市営スキー場

初心者から上級者まで幅広く楽しめるスキー場。長岡市街地を一望するワイドなパノラマも魅力の一つ。

長岡市栖吉町3300



スキー場山頂から見る白銀のゲレンデと雪景色の長岡の街、信濃川がとても美しいです。

100 越の大橋 (妙見堰)

長岡市内の上水道・灌漑用水の取水や、発電用水の逆調整を目的として作られた妙見堰に架けられた橋。国道17号バイパスとして利用されている。



橋を渡り「妙見記念館」に行くと信濃川を眺めるのはサイクルコースとしておすすめです!

101 信濃川・魚野川の合流点

信濃川と魚野川の合流地点にある川口地域。二大河川が形成する河岸段丘に拓けた水と豊かな緑が魅力的な場所。



魚沼の肥沃な大地を作り上げた魚野川と、悠大に流れる信濃川の合流の雄大さは格別!

102 越後川口インター展望台

関越自動車道越後川口サービスエリアに整備された展望台。信濃川や越後三山が一望できる。



信濃川や周辺の山々と人の営みが一度に見られ、「川と人とのつながり」を感じさせます。

103 えちご川口温泉

川口地域の観光・交流の中心施設。健康づくりや機能回復を目的とした温泉と温水プールがある。

長岡市川口中山2515-3



引用:川口温泉HP

温泉から眺める魚野川と信濃川の合流点がすばらしい!夕日も良い!

104 越後川口やな場

信濃川支流、谷川連峰に源を発する清流・魚野川に架せられた日本最古の伝統を誇るやな場。

長岡市西川口1029



やな場で獲れた新鮮な鮎を、炭火でじっくり焼き上げたものは絶品で旨みたっぷり!



川のおはなし

刈谷田川

守門岳に源流をもち長岡市や見附市を流れ、三条市・燕市の境界で信濃川に合流します。かつては九十九折川と呼ばれ水害が頻発する川で有名でしたが、普段は水が少なく、農業用水としての利用にも苦労しました。そのため、治水と利水の両面から工事が行われ、江戸時代には草堰が、1931年には大竹貫一の尽力もあり初代刈谷田川大堰が、1980年には上流に刈谷田川ダムが建設されました。その後も2004年7月13日の水害を契機に遊水地や田んぼダムの取り組みが進められています。



信濃川スポットマップ

2024年3月29日 発行

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所
〒940-0098 新潟県長岡市信濃1-5-30
TEL:0258-32-3020
E-mail:shinano@hrr.mlit.go.jp
HP:<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/>

国土交通省北陸地方整備局信濃川下流河川事務所
〒951-8153 新潟市中央区文京町14-13
TEL:025-266-7131
E-mail:shinage@hrr.mlit.go.jp
HP:<https://www.hrr.mlit.go.jp/shinage/>

信濃川スポットマップ

川でつながる 未来につなげる



大河津分水 通水100周年
The Ohkousu Diversion Channel 100th Anniversary



関屋分水 通水50周年
The Sekiya Diversion Channel 50th Anniversary